

知ってる? オーストラリアの政治のキホン

オーストラリアの政治についての基本知識を持っていると、今回の選挙の実態も分かりやすいはず。オーストラリアの政治について、ここで勉強しましょう。

歴史

かつてイギリスの植民地だったオーストラリアは、大陸を6つの植民地に分け、独立前は各植民地が自治政府を持ち、独自の方法で統治していた。しかし、大陸内で他の植民地との貿易時に起こる関税問題などがあり、19世紀後半には連邦化が叫ばれ

るようになった。オーストラリアは、1901年1月1日、オーストラリア連邦として独立。立憲君主国となった後も、州制度は保たれ、連邦政府と州政府は担当する業務を分担してきた。

元首 The Head of State

元首とは、国内外に対して国を代表する人物で、オーストラリアでは、イギリスの国王または女王にあたる。現在の元首はエリザベス二世で、オーストラリアの硬貨には女王の肖像画が描かれている。1999年には共和国化を問う国民投票が行われたが、共和国化は成立しなかった。

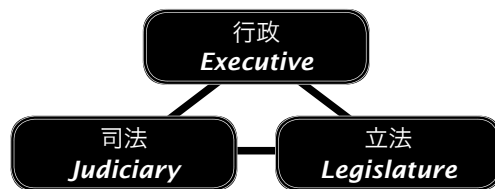


総督 Governor-general

総督とは、元首の代役として実際にオーストラリアを代表する人物のことで、オーストラリア連邦首相の推薦を受けて元首が任命をする。現在の連邦総督は、退役陸軍少佐のマイケル・ジェフリー氏。総督は、首相の任命や法律の承認、議会の解散などを行う。

三権分立 The Separation of Powers

オーストラリアの政治は、それぞれ独立した機関で立法、行政、司法を行う、三権分立が基本となっている。立法は上院・下院議会の両方を通して行われ、行政は首相が任命した内閣によって機能し、司法は連邦最高裁判所を最高機関としている。州政府も、同様に三権分立の政治システムをとっている。



憲法 The Constitution

イギリスの憲法が文章化されていないのに対し、オーストラリアの憲法は成文憲法である。オーストラリアの憲法は、連邦政治に必要である連邦政府の構成や権力などを定め、連邦政府に対する州政府の権利と義務などを記している。

連邦政府と州政府の違い

連邦制をとっているオーストラリアでは、連邦政府と州政府が異なる公務を担っている。しかし、必要に応じて連邦政府が州政府の公務に介入する場合などもある。

連邦政府の主な公務

税制 Taxation

国防 Defence

外交 Foreign Affairs

郵便及び通信サービス Postal and Telecommunication Services

など

州政府の主な公務

警察 Police

医療 Hospitals

教育 Education

交通 Public Transport

など